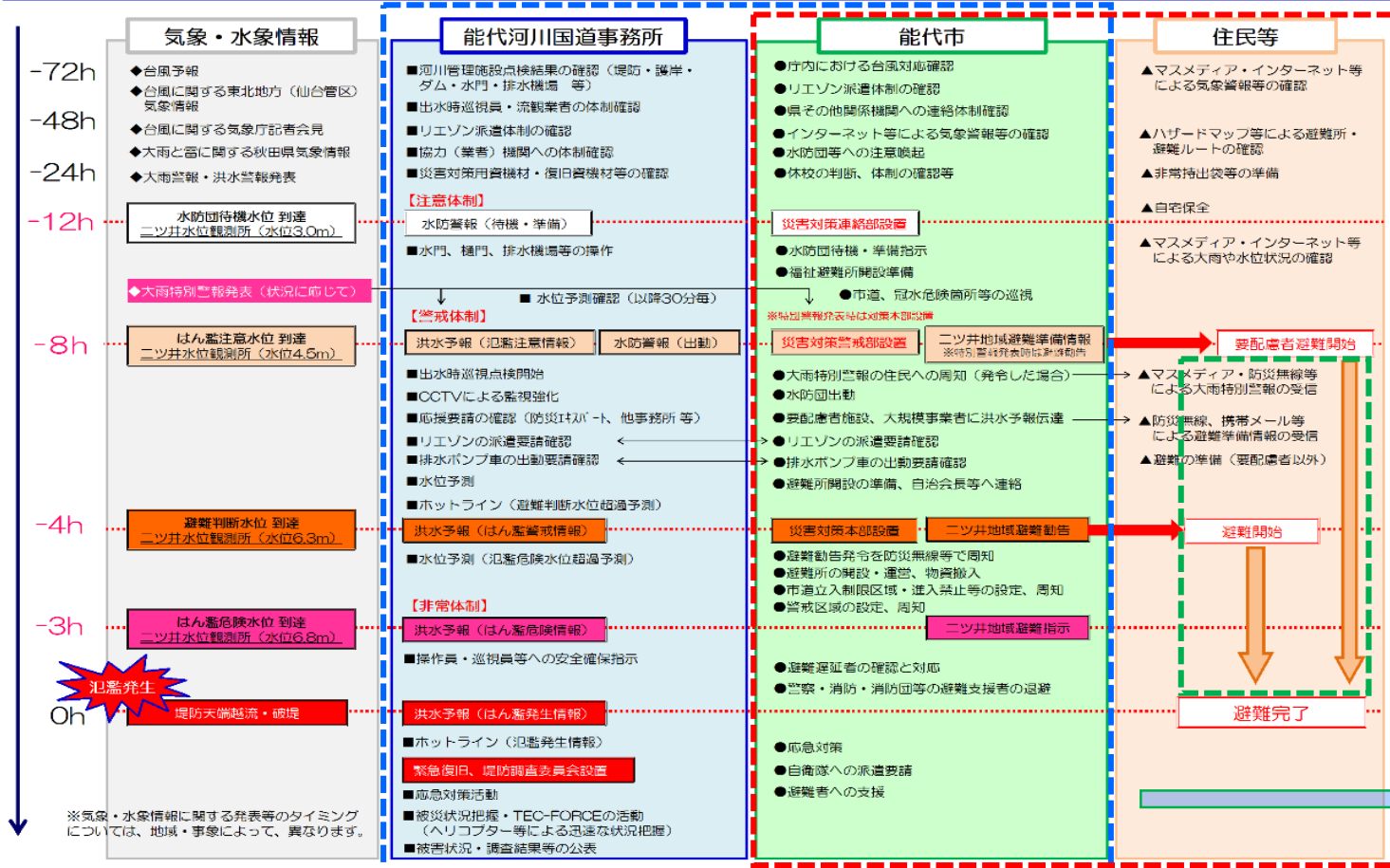


- 課題**
- ・演習について、大規模氾濫を想定し避難行動を含めた内容では未実施
 - 大規模氾濫を想定し避難行動を含めた演習を行うことで、体制等に係る課題を抽出・改善
 - ・タイムラインについて、住民目線での深度化・改善が必要
 - 住民及び要配慮者利用施設について、段階に応じた行動の整理とリードタイムの精査による改善
 - ・水防法の改定に伴い、要配慮者利用施設で「避難確保計画の策定」と「避難訓練の実施」が義務化
 - 自治体としては、施設管理者の「計画策定」と「訓練の実施」への支援

能代市タイムライン(案)

【台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、米代川管理区間川川の避難勧告の発令等に着目した防災行動計画】



現在策定済みの能代市タイムライン(案)

リードタイムの精査によるタイムラインの改善

深度化・改善を図る

平成29年度 合同危機管理演習について

平成29年度の取り組み内容

能代市をモデルケースとして、想定浸水区域内の地区ならびに要配慮者利用施設を抽出し、WS型式により以下について検討する。

- ① 大規模氾濫が発生した場合の時系列の浸水範囲の変化を確認し、被害状況や避難経路や避難場所の状況等を共有する。
- ② 関係機関や施設等において、水位ハイドロにに応じて「誰が、どのようなタイミングで、何をするのか」を精査。タイムラインを改善するとともに、抽出した要配慮者利用施設の「避難確保計画」の策定を支援する。
- ③ 改善したタイムラインにより演習を行い検証（可能であれば、施設等の避難訓練も実施）。

以上について、取り組みの経過を記録整理して協議会で共有し、他の施設や自治体での取り組みに展開する。

今年度の取り組みスケジュール

項目・事項	完了時期(目標)
① 浸水範囲の変化・被害状況の把握 ・時系列の浸水範囲の変化の確認 ・被害状況、避難経路・避難場所の状況共有	8月末まで
② ハイドロに応じた行動の抽出 ・誰が、どのタイミングで、何をするのか	
③ タイムラインの精査 ・必要行動に係る所要時間の把握 ・タイムラインの精査・改善	10月末まで
④ 演習の実施 ・タイムラインの検証	11月末まで
⑤ 検討過程の整理・共有 ・構成自治体への情報共有	12月末まで